@IT特集

人に頼れない今こそ、本音で語るセキュリティ「モダナイズ」

更新：2025年10月

企画概要

人に頼れない今こそ、本音で語るセキュリティ「モダナイズ」

日本のサイバーセキュリティ対策は大きな転換点を迎えている。攻撃者はサービス化や分業制の確立、AI悪用による効率化によって激増の一途をたどるばかりだ。

一方、企業・組織では、テレワークやクラウド、デジタル化に加えて生成AIなど新技術の活用によって攻撃や侵入の対象となる領域は多岐にわたり、慢性的な人材不足も相まって、管理や対処に携わるセキュリティの現場は「有事は明日かも」と不安な日々を過ごしているのではないだろうか。

人材に頼れない今こそ、人力による認証認可、管理、運用に頼らないセキュリティへ考え方を変革する必要がある――言うは易しだが行うは難し。

本特集では、ゼロトラストやアタックサーフェス管理、データ態勢管理（DSPM）、運用自動化など、従来のセキュリティ対策の考え方を変えて活用すべき技術の「モダナイズ」について、現場の本音を基に考える。

© ITmedia Inc.

特集と掲載予定コンテンツ

特集TOPイメージ

特集ページはこちら

期間	更新	注力記事（掲載予定）
2025年 9月	下旬～特集開始 週1～2本記事更新	
2025年 10月	週1～2本記事更新 （継続露出）	人材に頼れない今、人力による認証認可、管理、運用に頼らないセキュリティへ考え方をモダナイズするには （有識者インタビュー）
2025年 11月	週1～2本記事更新 （継続露出）	「AIの悪用に対抗するにはAI」現場の本音は？ （ユーザー企業SOCアナリストインタビュー）
2025年 12月	週1～2本記事更新 （継続露出）	人手に起因する脆弱性、設定ミス、情報漏えいが増える中「セキュリティで業務を阻害するな」現場の本音は？ （ユーザー企業CISOインタビュー）
2026年 1月	特集終了予定	「限られたリソースで本当に守るべきはシステムか、データか」現場の本音は？ （ユーザー企業CEOインタビュー）

※取材の都合により掲載予定は予告なく変更となる場合があります。

© ITmedia Inc.

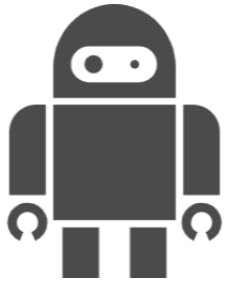
読者動向

読者もセキュリティ課題への解決にAI活用などモダナイズを強く意識

読者像

@IT読者は自社システムの保守運用に携わっている人が3割以上。役職者も6割以上と、企業のITシステム戦略を担っている。
サイバー攻撃を受けた経験があるのは半数以上。

製品導入



今後導入予定のセキュリティ対策として「AI／機械学習を使ったセキュリティ」を挙げた読者は4割以上。
「ゼロトラストセキュリティ」「SASE」「CSPM」といった、クラウド時代の基盤となる対策も高い関心。

課題

「脆弱性対応についての課題」では実運用フェーズの課題が上昇しており、脆弱性対策のコードを自動生成するなどAI活用のニーズが高まることは必然。セキュリティ人材・スキル不足にAIの活躍が期待される。

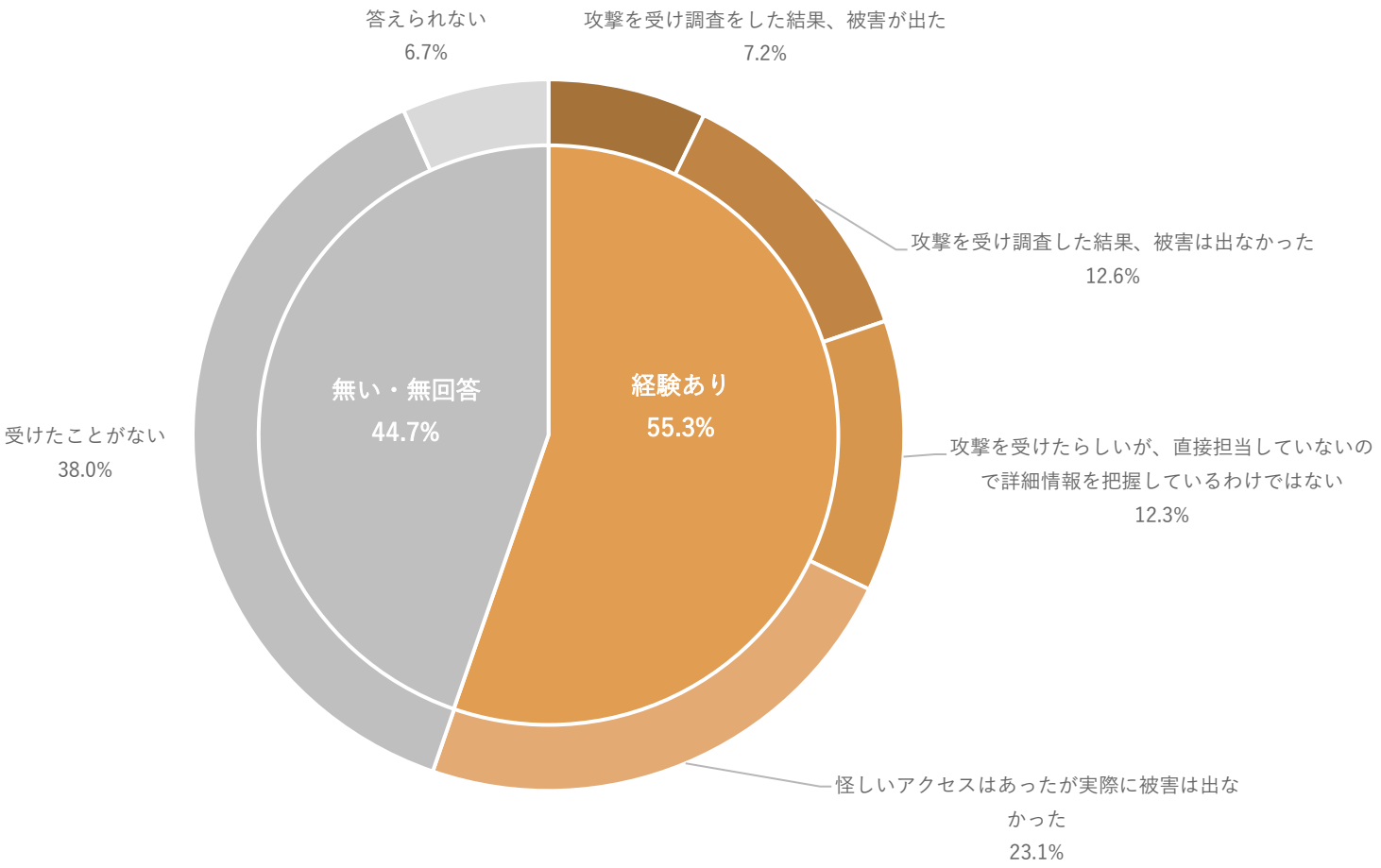
※@IT読者調査2025セキュリティ編（2025年5月　回答数389件）

© ITmedia Inc.

サイバー攻撃の有無

あなたの会社は標的型攻撃や不正アクセス、不正ログインなどを受けたことはありますか？　あてはまるものをお選びください。

N=389



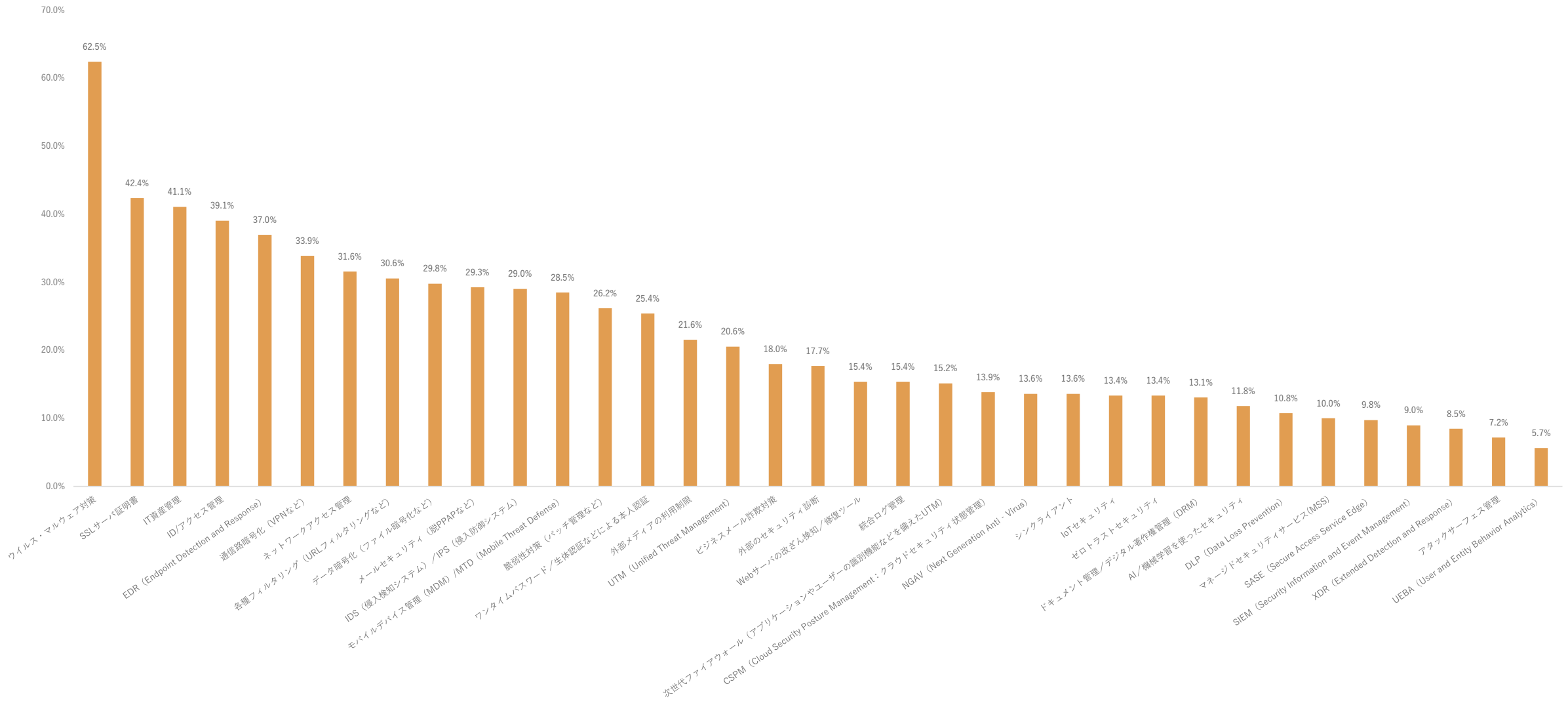
経験ありが半数以上となり、その中では怪しいアクセスはあったが実際に被害は出なかったが最多回答となった。検知は出来ている模様。
無回答・攻撃を受けたことがないという回答の比率は24年調査時からほぼ変わっていない。

© ITmedia Inc.

導入済みのセキュリティ対策

現在導入済みのセキュリティ対策をいくつでもお選びください。（複数回答可）

N=389



© ITmedia Inc.

導入済みのセキュリティ対策（前年比）

順位	25年調査		昨年比	24年調査	
1	ウイルス・マルウェア対策	62.5%	-11.7pt	ウイルス・マルウェア対策	74.2%
2	SSLサーバ証明書	42.4%	-5.5pt	SSLサーバ証明書	47.9%
3	IT資産管理	41.1%	-1.5pt	IT資産管理	42.6%
4	ID/アクセス管理	39.1%	1.7pt	EDR（Endpoint Detection and Response）	38.7%
5	EDR（Endpoint Detection and Response）	37.0%	-1.7pt	各種フィルタリング（URLフィルタリングなど）	37.6%
6	通信路暗号化（VPNなど）	33.9%	0pt	ネットワークアクセス管理	37.6%
7	ネットワークアクセス管理	31.6%	-6pt	ID/アクセス管理	37.4%
8	各種フィルタリング（URLフィルタリングなど）	30.6%	-7pt	通信路暗号化（VPNなど）	33.9%
9	データ暗号化（ファイル暗号化など）	29.8%	1.1pt	IDS（侵入検知システム）／IPS（侵入防御システム）	33.9%
10	メールセキュリティ（脱PPAPなど）	29.3%	3.8pt	脆弱性対策（パッチ管理など）	30.8%

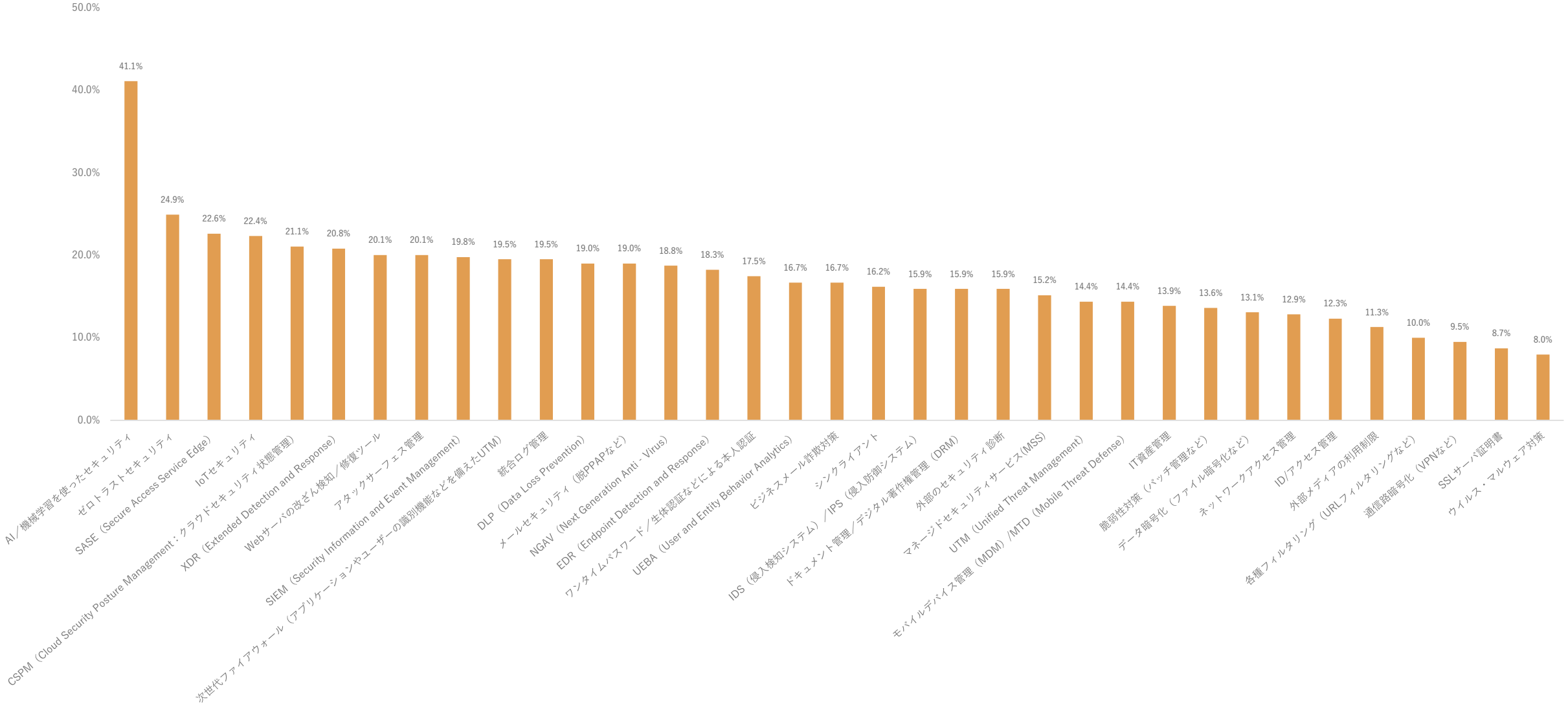
ウイルス・マルウェア対策が大きく昨年から減っている。Windows 11の標準搭載のセキュリティ機能で事足りると判断するケースも増えてきているため、あくまで憶測ではあるが、本来であれば併行してウイルス・マルウェア対策ソフトウェアも使うべきだが使用を取りやめてしまった可能性がある。

© ITmedia Inc.

今後導入予定のセキュリティ対策

- 導入予定のセキュリティ対策をいくつでもお選びください。（複数回答可）

N=389



© ITmedia Inc.

導入予定のセキュリティ対策（前年比）

順位	25年調査		昨年比	24年調査	
1	AI／機械学習を使ったセキュリティ	41.1%	新設	ゼロトラストセキュリティ	18.2%
2	ゼロトラストセキュリティ	24.9%	6.7pt	CSPM（Cloud Security Posture Management：クラウドセキュリティ状態管理）	17.6%
3	SASE（Secure Access Service Edge）	22.6%	6pt	メールセキュリティ（脱PPAPなど）	17.1%
4	IoTセキュリティ	22.4%	10.6pt	SASE（Secure Access Service Edge）	16.6%
5	CSPM（Cloud Security Posture Management：クラウドセキュリティ状態管理）	21.1%	3.5pt	次世代ファイアウォール（アプリケーションやユーザーの識別機能などを備えたUTM）	15.3%
6	XDR（Extended Detection and Response）	20.8%	6.1pt	XDR（Extended Detection and Response）	14.7%
7	Webサーバの改ざん検知／修復ツール	20.1%	10.6pt	ワンタイムパスワード／生体認証などによる本人認証	14.7%
8	アタックサーフェス管理	20.1%	新設	DLP（Data Loss Prevention）	13.2%
9	SIEM（Security Information and Event Management）	19.8%	7.7pt	EDR（Endpoint Detection and Response）	13.2%
10	次世代ファイアウォール（アプリケーションやユーザーの識別機能などを備えたUTM）	19.5%	4.2pt	NGAV（Next Generation Anti - Virus）	13.2%

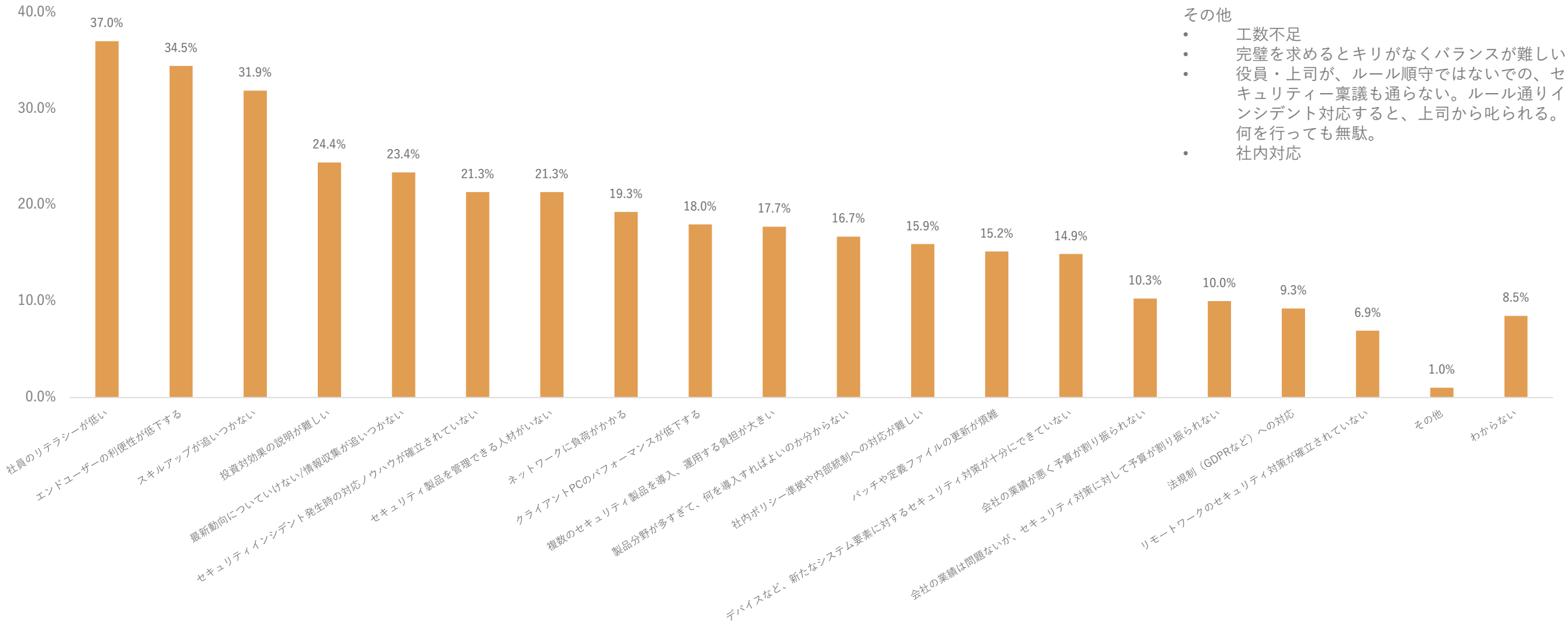
AI／機械学習を活用したセキュリティが新設ながら圧倒的1位となり、実装レベルでのAI活用に対する期待が高まっている。ゼロトラストやSASE、CSPMといったクラウド時代の基盤対策も依然高い関心を集めている。Webサーバの改ざん検知・修復ツールの導入意向が大きく伸びた背景には、中小企業や自治体における改ざん被害が報道されたり、クラウド型WAFなど低コストで導入可能な対策が普及したことが考えられる。

© ITmedia Inc.

セキュリティ対策を行う上での課題

お勤め先でセキュリティ対策を行う上での課題について、あてはまるものをいくつでもお選びください。（複数回答可）

N=389



その他
- 工数不足
- 完璧を求めるとキリがなくバランスが難しい
- 役員・上司が、ルール順守ではないでの、セキュリティー稟議も通らない。ルール通りインシデント対応すると、上司から叱られる。何を行っても無駄。
- 社内対応

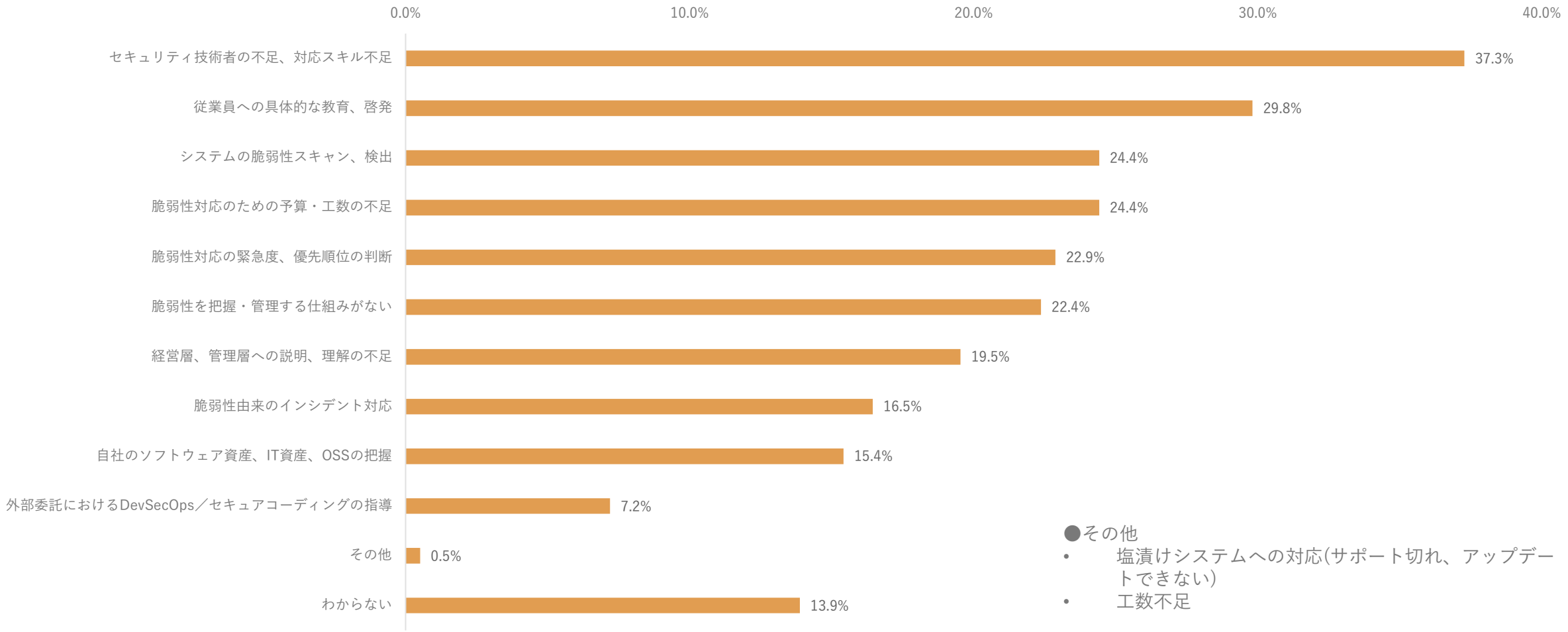
社員のリテラシーが低いが最多で4割。

© ITmedia Inc.

脆弱性対応についての課題

脆弱性対応について課題があれば、いくつでもお選びください。（複数回答可）

N=389



●その他
- 塩漬けシステムへの対応(サポート切れ、アップデートできない)
- 工数不足

24年調査時と同様、セキュリティ技術者の不足、対応スキル不足が最多で4割。

© ITmedia Inc.

サイバーセキュリティのモダナイズ – 5つの要素

サイバーセキュリティの考え方のモダナイズ

攻撃者優位の現状や環境変化を踏まえ、防御の前提を刷新

セキュリティアーキテクチャのモダナイズ

ゼロトラスト、境界防御から「常時検証型」への移行

- ゼロトラスト
- ID管理
- 特権ID管理
- SSO

特定・防御のモダナイズ

アタックサーフェス管理、攻撃可能な資産や脆弱性を特定、リスク低減

- CTEM
- アタックサーフェス管理

データ保護のモダナイズ

DSPM、データ主権、データ所在の可視化、アクセス権限管理、規制遵守の徹底

- DSPM
- CSPM
- CNAPP
- CASB
- CWPP

検知・対応のモダナイズ

セキュリティ運用自動化、SOAR、インシデント対応迅速・自動化

- セキュリティ運用自動化
- 継続的監視
- セキュリティ・バイ・デザイン

© ITmedia Inc.

関連記事

@ITではセキュリティモダナイズの動向を常時追跡・レポート

サイバーセキュリティの考え方のモダナイズ

全社訓練や漫画などセキュリティ対策を先進するfreee、全てを守ろうとする前に考えたい「積極的諦め」とフレームワーク活用のススメ

従業員にサイバーリスクをより真剣に受け止めさせるには：Gartner Insights Pickup

セキュリティアーキテクチャのモダナイズ

ドラマでは描かれないセキュリティ対策の現実――ハッカー描写の監修もする上野宣氏が示す「 ゼロ トラスト 」の有効性と移行への3フェーズ

ゼロ トラスト アーキテクチャへの変革におけるモダナイゼーションの重要性、移行への実践的なアプローチ

特定・防御のモダナイズ

流行中の「アタックサーフェスマネジメント」は使いものになるか？ 根岸氏、辻氏、piyokango氏鼎談に見る3つの論点

「キミの部門で一番重大なセキュリティ脅威は何かね？」から始める“いまさら”アタックサーフェス管理のススメ

データ保護のモダナイズ

セキュリティとプライバシーの専門家の約半数が、従業員の個人情報や非公開データを生成AIに入力 Cisco調査

データガバナンスにおけるデータディスカバリを自動化するための3つのベストプラクティス

検知・対応のモダナイズ

「自動化やAI活用が不可欠」言うは易し――現状プロセスを分析する4つの方法、AIも働きやすくする3つの環境整備ポイント

「セキュリティ運用は5年前より楽になった」 Omdiaが見つけた3つの要因とは

特集協賛

特集協賛特典

特典1

特集協賛としてタイアップ記事を出稿いただくと、当該トップページにタイアップ記事広告への「特設誘導枠」と「貴社ロゴ掲載」を無償掲載します（＊）

ご出稿タイアップ記事イメージ

＊ご留意事項

・特設誘導枠と貴社ロゴ掲載は、タイアップ記事広告と同時に行い、1カ月の期間掲載となります
・特設誘導枠と貴社ロゴに関するレポート（クリック数など）は発行できません
・1回のご出稿で複数の特集に協賛することはできません

特典2

特集期間中、特集と特集掲載協賛タイアップ記事の紹介メールを@IT読者に定期配信
タイアップ記事の保証PV達成後でも、特集終了までは読者にタイアップ記事の紹介をします

※配信は月1回です。配信内容、配信日、配信結果の事前事後の内容確認は行いません。タイアップ記事のレポートはタイアップ記事の保証PV達成後に提出し上記数値は含まれません

© ITmedia Inc.

連動タイアップ記事のご提案

読者動向ふまえ、編集部から最適なタイアップ記事案をご提案いたします

テーマ例）データ保護／DSPM
AI活用で増え続ける非構造化データ。その中の「重要な情報」は誰が守る？

企業のデータ資産は、クラウド環境やファイルサーバー、SaaSなどに分散し、その量は爆発的に増加しています。しかし、その多くは管理が手薄なまま放置されているのが現状です。本記事では、データ資産そのものに着目し、機密データの所在を特定し、不正アクセスや設定不備といったリスクから保護するDSPM（データ態勢管理）の重要性を解説します。

テーマ例）セキュリティ運用自動化／SOAR
「AIの悪用に対抗するにはAIしかない」現場のSOSをSOARが救う。限られた人材でセキュリティ運用を効率化する鉄則

サイバー攻撃の激化に伴い、SOC（セキュリティオペレーションセンター）のアラート件数は増加の一途をたどっています。人手によるアラート対応は限界に達し、アナリストの疲弊や対応遅延が深刻な課題となっています。本記事では、セキュリティ運用自動化・対応（SOAR）の仕組みを紹介し、どのようにアラートトリアージやインシデント対応を自動化・効率化できるのか、その具体的な手法とメリットを解説します。これにより、アナリストはより高度な分析業務に集中することが可能になります。

© ITmedia Inc.

ITmedia「タイアップ記事」　4つの特徴

●読者を知る編集者の企画編集

メディア掲載される記事を執筆編集している編集者がその知見を活かし、読者の理解を促すコンテンツを提案。制作作業に最後まで携わります。

●効果的な読者導線

弊社が有するサイトの特性を生かした広告や 読者行動データを活用した誘導配信などを組み合わせ、効率的な読者の閲覧を獲得します。

●PVの保証

PV数を保証するメニューをご用意。キャンペーンの数値目標にコミットします。
掲載期間が終了したタイアップ記事に誘導を再開することも可能です。

●詳細なレポーティング

掲載期間終了後にはPV/UBのほか閲覧企業名などを記載したレポートをご提供します。
ご出稿の効果を適正に評価しての次回施策活用が可能です。

© ITmedia Inc.

PV保証タイアップ

メディアのファンである読者のみを対象に誘導を実施するタイアップ記事

タイアップ記事

PDF化納品

実施料金	
¥1,850,000 / 3,000PV ＋カスタム記事パンフレット納品	
広告仕様	
概要	掲載メディア内にタイアップ記事への誘導を表示。各メディア読者を対象に誘導を行います
保証	PV数
掲載（誘導）期間	最短1週間～（保証PV達成次第終了）
仕様	タイアップ記事　1本制作、約3,000～4,000字、図版3点以内（取材あり） カスタム記事パンフレットPDF（Web掲載用解像度）4p
掲載媒体	@IT
備考	• 誘導広告の位置／内容などはお任せいただきます（事前の確認・指定・終了後の開示はできません） • 撮影またはご提供いただいた画像は誘導アイコンに使用する場合があります • 保証PV達成次第、誘導を停止します（最低1週間の誘導期間を保証します） • 初校の出し直しの場合：¥300,000、念校以降の修正の場合：¥100,000 を別途申し受けます • テンプレート以外のレイアウトをご希望の場合は有償オプションで対応いたします（貴社テンプレートを使用する場合も含む）

※ 価格はすべて税抜／グロス表記です

© ITmedia Inc.

行動履歴ターゲティングタイアップ

読者の行動データを基に「セキュリティに興味・関心が高い人」へ誘導を実施するタイアップ

「興味関心」指定
＊興味関心のキーワードは自由に選定可能ですが、当社内でのUB数が規定値を下回る場合、調整をお願いします
＊主要キーワードとUB数は「Audience Dashboard」を参照ください

オーディエンス抽出

ITmedia DMP

ITmedia内誘導

DSP／SSP

外部誘導

拡張外部誘導

タイアップ記事

PDF化納品

実施料金

¥1,700,000 / 3,000PV ＋カスタム記事パンフレット納品

広告仕様

概要	行動履歴データで読者の興味関心を抽出、外部サービスも併用し興味関心者だけにタイアップ記事への誘導を表示します
保証	PV数
掲載（誘導）期間	最短1週間～（保証PV達成次第終了）
仕様	タイアップ記事　1本制作、約3,000～4,000字、図版3点以内（取材あり） カスタム記事パンフレットPDF（Web掲載用解像度）4p
掲載媒体	@IT
備考	• 本商品は外部出稿を利用します。外部出稿先の指定はお請けできません • キーワードは自由に選定可能ですが、弊社メディア内でのUB数が規定値を下回る場合、調整をお願いします • 誘導広告の位置／内容などはお任せいただきます（事前の確認・指定・終了後の開示はできません） • 撮影またはご提供いただいた画像は誘導アイコン（外部誘導含む）に使用する場合があります • 保証PV達成次第、誘導を停止します（最低1週間の誘導期間を保証します） • 初校の出し直しの場合：¥300,000、念校以降の修正の場合：¥100,000を別途申し受けます • テンプレート以外のレイアウトをご希望の場合は有償オプションで対応いたします（貴社テンプレートを使用する場合も含む）

© ITmedia Inc.

※ 価格はすべて税抜／グロス表記です

リード提供型タイアップ

@ITのタイアップ記事にアンケートフォームを設置。PVを保証するとともに、回答情報と個人情報を提供します

実施料金

¥1,950,000/ 3,000PV　＋回答者情報想定50件納品

広告仕様

概要	タイアップ記事をPV保証で掲載。記事にはアンケートを設置し読者の回答情報および個人情報を収集します
保証	PV数
掲載（誘導）期間	最短1週間～（保証PV達成次第終了）
仕様	タイアップ記事　1本制作、約2,000～3,000字、図版2点以内（取材あり） アンケートフォーム制作、回答情報／個人情報提供（想定50件）
掲載媒体	@IT
備考	• 誘導広告の位置／内容などはお任せいただきます（事前の確認・指定・終了後の開示はできません） • 撮影またはご提供いただいた画像は誘導アイコンに使用する場合があります • 保証PV達成次第、誘導を停止します（最低1週間の誘導期間を保証します） • 本商品は回答促進のため、メールマガジン広告を併用します。また弊社で読者への特典（Amazonギフトカード など）を付与します。付与なしでの実施はお請けできません • 初校の出し直しの場合：¥300,000、念校以降の修正の場合：¥100,000 を別途申し受けます

※ 価格はすべて税抜／グロス表記です

© ITmedia Inc.

※ 価格はすべて税抜／グロス表記です

＼ ミドルページ制作キャンペーン ／

タイアップ

＋

ミドルページ

タイアップ**3本**ご一括発注で！

タイアップ取材締切：2025年10月27日　※ 12月1日までにタイアップ1本分以上掲載必須

- ミドルページ
- 維持費1カ月分
- 読者への誘導

通常**100**万円相当

▼

0円でご提供！

© ITmedia Inc.

ミドルページとは

タイアップ記事広告と関連する編集記事などを1つのPRページにまとめたものです。
継続的な認知獲得と理解促進の手段として「タイアップ連載/ミドルページ（テンプレート）」をご提案します。認知と理解を得たい「メッセージ」をミドルページに大きく配置し、メッセージの認知や理解促進を促すタイアップ連載（コンテンツ）の掲載を中心に関連情報を各所に配置していくことで、継続的な認知獲得と理解促進を促します。

新領域開拓製品のメッセージ訴求に

タイアップ連載を通じて「Who」（お客様自身がどのようなプレーヤーなのか）、「What」（お客様がどんな価値を提供するのか）、「Why」（お客様の製品/サービスを選ぶ理由はなにか）を発信。発信内容をミドルページに集約します

パートナー各社様との施策訴求に

パートナー各社様の施策（製品/サービス訴求）をタイアップ連載として発信。それらのコンテンツをミドルページに集約・掲載することで、パートナー様との共同施策としての存在感を発揮します。

コーポレートメッセージの発信に

貴社製品/サービスを訴求するタイアップ記事を連載として複数本掲載、コーポレートメッセージを大書したミドルページに掲載することで、「メッセージの発信」と「製品/サービスの訴求」を結び付けたかたちで訴求します。

© ITmedia Inc.

キャンペーン内容

本キャンペーンではタイアップ記事**3本**ご購入いただいたお客様へ、**ミドルページの制作、1カ月間の維持／更新作業、読者への誘導**を**無料**でお付けいたします。読者への誘導パターンは期間を保証する期間保証型で誘導いたします。

タイアップ3本

※一括発注

＋

ミドルページ制作／誘導

- ミドルページ（テンプレートタイプ）制作
- 掲載維持更新（1カ月）
- 読者誘導（期間保証）

誘導

※ 本キャンペーンのミドルページについてはレポートを提出いたしませんのでご了承ください。無料分の1カ月以降継続的に維持更新費、有償の誘導費をご購入いただいた場合は無料分のレポートもお付けいたします
継続的に誘導をする際はPV保証もございますのでご相談ください

本キャンペーンで提供するミドルページへの掲載維持更新期間内にタイアップ記事の掲載がすべてできなかった場合、一括でご発注された分のタイアップ記事についてはミドルページへのリンク追加をしますが、その他の更新・修正等については追加費用を申し受けます。また、ミドルページの維持掲載期間の延長、読者誘導の追加は可能です。担当営業にご相談ください。

© ITmedia Inc.

タイアップ記事　終了レポート

掲載終了後には、以下項目をレポートします。閲覧者の属性（業種、企業名など）もご報告します

- PV（ページビュー数）
- UB（ユニークブラウザ数）
- 平均滞在時間
- 外部サイトへのリンククリック数

- 業種 *
- 年商規模 *
- 従業員規模 *
- 都道府県 *

- 閲覧企業名 *

レポートイメージ

掲載結果のご報告

クライアント名：　○○株式会社 様

掲載期間　：　2022/06/20(月)　～　2022/07/11(月)

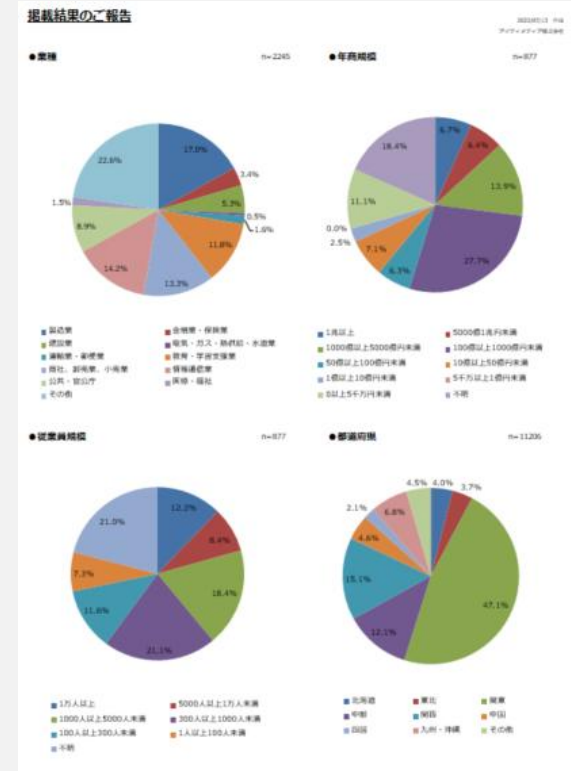
●掲載実績

各ページタイトル／URL	ページビュー（PV）	ユニークブラウザ（UB）	平均滞在時間
ワーケーションを成功させるには？　企業がしっかり進めるべき「4つのステップ」 https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2206/20/news095.html	20,367	15,048	0:04:03

●記事内 外部リンク クリック数

リンクテキスト・画像	リンク先URL	クリック数
分野下／関連リンク		
公式Webサイト	https://www.itmedia.co.jp/?utm_source=itmedia	513
カテゴリム／関連リンク		
公式Webサイト	https://www.itmedia.co.jp/?utm_source=itmedia	262
	合計	775

●日別PV＆UB


掲載結果のご報告

●業種　n=2245

●年商規模　n=877

●従業員規模　n=877

●都道府県　n=11206

掲載結果のご報告

No.	主要掲載企業150社 企業名	No.	主要掲載企業150社 企業名	No.	主要掲載企業150社 企業名
1	[illegible]	51	[illegible]	101	[illegible]
2	[illegible]	52	[illegible]	102	[illegible]
3	[illegible]	53	[illegible]	103	[illegible]
4	[illegible]	54	[illegible]	104	[illegible]
5	[illegible]	55	[illegible]	105	[illegible]
6	[illegible]	56	[illegible]	106	[illegible]
7	[illegible]	57	[illegible]	107	[illegible]
8	[illegible]	58	[illegible]	108	[illegible]
9	[illegible]	59	[illegible]	109	[illegible]
10	[illegible]	60	[illegible]	110	[illegible]
11	[illegible]	61	[illegible]	111	[illegible]
12	[illegible]	62	[illegible]	112	[illegible]
13	[illegible]	63	[illegible]	113	[illegible]
14	[illegible]	64	[illegible]	114	[illegible]
15	[illegible]	65	[illegible]	115	[illegible]
16	[illegible]	66	[illegible]	116	[illegible]
17	[illegible]	67	[illegible]	117	[illegible]
18	[illegible]	68	[illegible]	118	[illegible]
19	[illegible]	69	[illegible]	119	[illegible]
20	[illegible]	70	[illegible]	120	[illegible]
21	[illegible]	71	[illegible]	121	[illegible]
22	[illegible]	72	[illegible]	122	[illegible]
23	[illegible]	73	[illegible]	123	[illegible]
24	[illegible]	74	[illegible]	124	[illegible]
25	[illegible]	75	[illegible]	125	[illegible]
26	[illegible]	76	[illegible]	126	[illegible]
27	[illegible]	77	[illegible]	127	[illegible]
28	[illegible]	78	[illegible]	128	[illegible]
29	[illegible]	79	[illegible]	129	[illegible]
30	[illegible]	80	[illegible]	130	[illegible]
31	[illegible]	81	[illegible]	131	[illegible]
32	[illegible]	82	[illegible]	132	[illegible]
33	[illegible]	83	[illegible]	133	[illegible]
34	[illegible]	84	[illegible]	134	[illegible]
35	[illegible]	85	[illegible]	135	[illegible]
36	[illegible]	86	[illegible]	136	[illegible]
37	[illegible]	87	[illegible]	137	[illegible]
38	[illegible]	88	[illegible]	138	[illegible]
39	[illegible]	89	[illegible]	139	[illegible]
40	[illegible]	90	[illegible]	140	[illegible]
41	[illegible]	91	[illegible]	141	[illegible]
42	[illegible]	92	[illegible]	142	[illegible]

*　IPアドレスによる判別です。一部メディアでの掲載ではレポートされません

© ITmedia Inc.

タイアップ記事　画面構成例

本文・写真・図版

3,000～4,000文字と十分なボリュームで潜在層に興味関心を抱かせます。図版/写真は3点まで掲載します。

関連リンク

ご希望に応じて貴社指定のリンクを設定できます。ページの右カラムと記事下スペースを使い、読者をスムーズに誘導します。

●リンク例
・貴社サイト
・アンケート
・資料請求/資料ダウンロード
・セミナー告知
・関連記事
・コンテンツまとめページ
・トライアル版申込ページ
・各種SNS

※デザインや文字数などの仕様は、商品および掲載メディア（サイト）によって異なります。また、企画ページ内には、「PR」「提供（広告主名）」「掲載内容有効期限」が入ります。

© ITmedia Inc.

タイアップ記事 制作スケジュール・ご注意事項

想定スケジュール
下記は一例です。掲載までのスケジュールはお申込み後、別途ご案内いたしますので、各営業担当にお問い合わせください

「制作～校正」の期間中には初校・再校・念校が含まれます。念校では“再校時にご依頼いただいた修正内容が反映されているかどうか”の最終確認を行っていただきます

ご注意事項

・PVとは、当社からの誘導を含む全アクセス数を指します。UBとは、ユニークブラウザ数を指します。
・制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します
・印刷物でのご利用は二次利用費が発生します。ご希望される場合は、担当営業までお問合わせください
・制作した記事は広告主様のWebサイトへの転用が可能です（※出典記載必須、改変不可）

出典記載イメージ
転載元：●メディアの正式名称●
●メディアの正式名称●　●●●●年●月●日掲載記事より転載
本記事は●メディアの正式名称●より許諾を得て掲載しています
記事URL（可能であれば）

・遠方（関東以外）で取材を行う場合、別途交通費が発生する場合がございます
・カメラマンをアサインする場合、別途費用が発生する場合がございます
・転載した記事へ、広告主様がアドネットワークなど第三者を利用した誘導を実施する行為はご遠慮ください

・お申し込み後、広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下の追加費用が発生する場合がございますのでご了承ください。

・初校の出し直し：¥300,000
・念校以降の修正：¥100,000
・再取材のご要望についてはご相談下さい　※全て税抜/グロス

© ITmedia Inc.

アイティメディア
媒体規定・入稿規定・キャンセル規定

本企画書掲載のアイティメディア商品に関する媒体規定・入稿基準・キャンセル規定については
「アイティメディア 広告料金表」をご覧ください

http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-04-02/2d245tj

© ITmedia Inc.

アイティメディアのご紹介　広告の品質保証について

ITmedia Inc.

社名	アイティメディア株式会社 （英文表記：ITmedia Inc.）
所在地	〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付13階）
設立	1999年12月
資本金	18億82百万円（2024年3月末日現在）
従業員数	339名（連結：2024年3月末日現在）
主要株主	SBメディアホールディングス株式会社 当社はソフトバンクグループ企業です。
上場市場	東京証券取引所 プライム市［証券コード：2148］（上場日：2007年4月19日）
事業内容	インターネット・メディア事業
プライバシーマーク	たいせつにしますプライバシー 17002260

ブランドセーフティおよび広告トラフィックの品質確保のための取り組み

アイティメディア株式会社（以下「当社」といいます）は、一般社団法人日本インタラクティブ広告協会（JIAA）が定めるガイドラインに従い、広告掲載先の品質や広告トラフィックの品質の確保に努めております。

1. **広告掲載先の品質確保（ブランドセーフティ）やその対策について**
   ■ 広告掲載先の品質確保に関するガイドライン（ブランドセーフティガイドライン）
   https://www.jiaa.org/gdl_siryo/gdl/brandsafe_gdl/

2. **広告トラフィックの品質確保やその対策について**
   ■ 広告トラフィックの品質確保に関するガイドライン（無効トラフィック対策ガイドライン）
   https://www.jiaa.org/gdl_siryo/gdl/ivt_gdl/

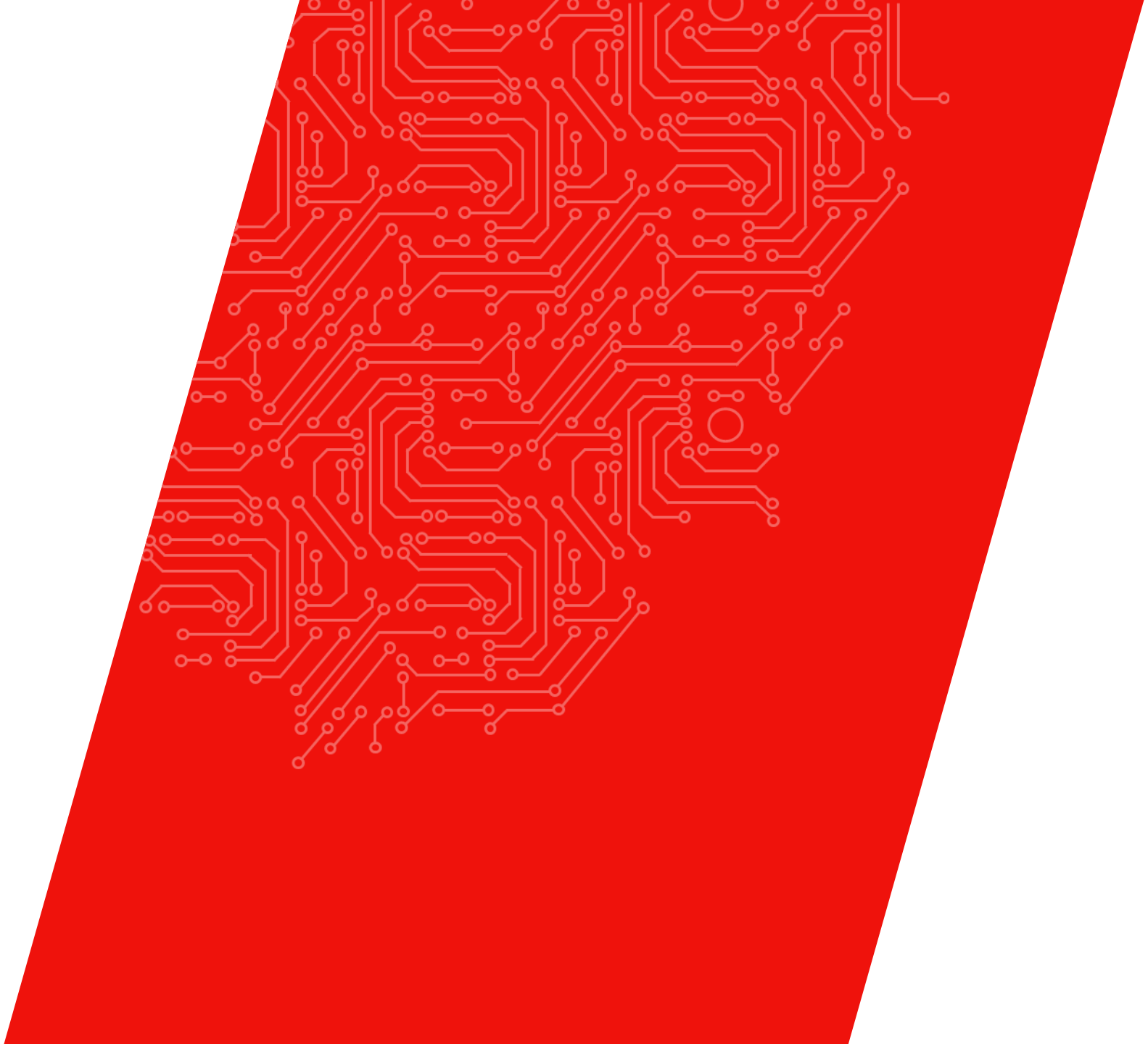
2024年9月1日付けで、一般社団法人 デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）が定める第三者検証のJICDAQ認証基準を満たし、媒体事業者（広告販売者）としてJICDAQ認証を取得しました。

- 認証機関　　：一般社団法人 デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）
- 認証分野　　：「ブランドセーフティ」、「無効トラフィック対策」
- 事業領域　　：広告販売者（媒体事業者）
- 検証確認方法：　第三者検証

CERTIFIED AGAINST AD FRAUD JICDAQ 第三者検証

BRAND SAFETY CERTIFIED JICDAQ 第三者検証

© ITmedia Inc.



■お問い合わせ

アイティメディア株式会社　営業本部
〒102-0094　東京都千代田区紀尾井町3-12
紀尾井町ビル 13階

https://promotion.itmedia.co.jp/contact